



持続可能な社会と、
その創り手を育む教育を。

全国ESDコンソーシアム/ステークホルダー円卓会議2025

ESDコンソーシアム・ショーケース

ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム報告

田宮 縁 TAMIYA Yukari (静岡大学)

文部科学省ユネスコ活動費補助金 事業の概要

ESD・国際化ふじのくにコンソーシアムを母体に、社会教育（北九州市環境ミュージアム）と学校教育融合型のESDを主眼としたカリキュラムパッケージを開発し、その成果を全国に発信する。また、環境系の行政、団体、企業等、新たなネットワークの構築を図りESDの更なる普及啓発を行う。

補助事業の目的

令和5年度は、①と②を実施し、NPO法人里山を考える会が考案・実践している「ミュージアムジャック」のブラッシュアップ
令和6年度は、②と③を実施

- ①カリキュラムパッケージ「ミュージアムジャック」開発
- ②「ミュージアムジャック」の発信
- ③「ミュージアムジャック」の応用（カスタマイズの可能性の検証）

ESDフォーラムミュージアムジャックを実施

報告書はこちらから
ダウンロードできます



令和5年度 文部科学省ユネスコ持続可能な開発目標（SDG）推進事業

ESDフォーラム ミュージアムジャック

テーマ【社会教育・学校教育融合型のESDを主としたカリキュラムパッケージの開発】

ミュージアムジャック ▶ 明治学園小学校の4年生・93名が、タカミヤ環境ミュージアムのスタッフとして来館者をガイドする職場体験カリキュラム。

日時 2024年1月20日(土) 9時～16時
会場 タカミヤ環境ミュージアム（北九州市八幡東区東田2丁目2-6）



「ミュージアムジャック」の最大の特徴は、遊び心をくすぐり、子どもたちを探究活動に巻き込んでいく「リアルごっこ遊び」にあります。ガイドやスタッフといった職場体験を通して、子どもたちが身近な環境の成り立ちや私たちが直面するグローバルな課題を学び、共感・連携・行動に関する資質や能力を身につけていくことを期待しています。ESD・国際化ふじのくにコンソーシアムを中心に展開される「社会教育・学校教育融合型のESDを主としたカリキュラムパッケージの開発」の初年度は、フォーラム参加者とともに「ミュージアムジャック」試案をブラッシュアップしていきたいと考えています。

ESDフォーラム参加申込 ▶ フォーラムの詳細は下記をご覧ください ▶

■ 定員 / 50名・参加費無料 ※定員になり次第締め切り
■ 申込受付期間 / 2023.11.20日～2024.1月10日

下記アドレス・QRコードから申込サイトでエントリー ▶
<https://forms.gle/axsJUBHd85KVyQzJ9>

下記アドレス・QRコードからエントリー ▶
<https://forms.gle/Xjp6XWVUSBeVeVt8>

【お問い合わせ】タカミヤ環境ミュージアム TEL.093-663-6751 9:00～18:00（休館日）
田宮 緑（静岡県立大学） tamiya.yukari@shizuoka.ac.jp

●主催 / ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム、静岡県教育庁
●協力 / 明治学園小学校、タカミヤ環境ミュージアム、NPO法人登山を考える会
●後援 / ユネスコ・アジア文化センター、全国ESD活動推進センター、北九州ESD協議会、西日本新聞社、北九州府教育委員会

文部科学省 静岡県立大学 登山を考える会 ESD推進センター

子どもたちがタカミヤ環境ミュージアムのスタッフとして、来館者へワクワク楽しいガイディングを行います!!

明治学園小学校 ミュージアム ジャック!!

2024年1月19日(金) ▶ESDフォーラム前日
●10:00～12:00 ▶4年1組 ●12:30～14:30 ▶4年2組
2024年1月20日(土) ▶ESDフォーラム当日
9:00～11:00 ▶4年3組

タカミヤ環境ミュージアム
入館料無料

ESDフォーラム ミュージアムジャック

13:30-13:40 …… 開会 挨拶 熊倉 啓之 静岡県立大学学部長
事業概要 田宮 緑 静岡県立大学教員

13:40-14:10 …… 基調講演「生涯学習社会における社会教育と学校教育の連携・融合」
渡江 かさね 静岡県立大学准教授

14:10-14:15 …… ミュージアムジャックの概要 関 宣昭 NPO法人 登山を考える会 代表
14:15-14:20 …… ミュージアムジャックビデオ上映
14:20-14:30 …… 実践報告 明治学園小学校
14:30-14:45 …… カリキュラムパッケージ ミュージアムジャック(試案)

休憩

14:55-15:55 …… ラウンドテーブル

ゲスト
宮川 秀俊 愛知教育大学名誉教授
渡部 由美 ユネスコ・アジア文化センター 顧問
水田 忠道 広島大学准教授
ファシリテーター 田宮 緑 静岡県立大学教員

15:55-16:00 …… 閉会挨拶 松岡 俊和 タカミヤ環境ミュージアム 館長

※プログラム並びスケジュールは、予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

2024年1月20日(土)

ミュージアムジャック
来場者：107名程度

ESDフォーラム ミュージアムジャック
参加者：対面32名、オンライン256名

ミュージアムジャックとは・・・
社会教育と学校教育が連携し、おとなも子どもも持続可能な社会の構築をめざし行う教育活動。子どもの遊び心をくすぐり探究活動に巻き込んでいく「リアルごっこ遊び」が特徴。本物のミュージアムでガイドやスタッフの仕事を行う職場体験プログラム。

ビデオはQRコードからご覧いただけます
専門家が制作した4分程度の高画質なビデオです



2023年度



2024年度

2024年度のビデオは、
NPO法人里山を考える会が
制作・提供してくださいました



令和6年度 文部科学省ユネスコ活動費補助金
SDGs 達成の担い手育成(ESD)推進事業

ESDフォーラム ミュージアムジャック 2024

テーマ

社会教育・学校教育融合型の
ESDを主眼としたカリキュラムパッケージの開発

社会の急速な変化の中で、個人の人生の充実と社会の持続的な発展のために、「生涯学習社会」の実現が欠かせません。

このような中、学校には社会と連携・協働した教育活動を充実させることがますます求められています。

また、子どもに関わるすべてのおともも持続可能な社会の創り手として生きていくことがせられます。

「ミュージアムジャック」とは、社会教育施設等でのガイドやスタッフといった

職場体験を通して、子どもたちが身近な環境の成り立ちや私たちが直面するグローバルな現状を学び、
共感・連帯・行動に関する資質や能力を身につけていくことを期待しています。ここでいう「ミュージアム」は単なる施設ではなく、
身近な地域の人・社会・自然との直接的な体験、本物と関わりの中で生まれてくる教育活動です。

本フォーラムでは、令和5年度に開発したカリキュラムパッケージ「ミュージアムジャック」について、
実践事例を通してご参加のみならずともに検討し、創り上げていきます。

11/15(金) 13:30-16:30

ホテルアソシア静岡 3階 葵 [定員90名]
静岡県静岡市葵区5-1-10

およびオンライン(Zoom) [定員設定なし]

ホップコロッサスを利用するなど、選定でのご参加も可能です。
※専門業者による商品買入配付を行います。

サテライト会場(バブリックビューイング)
北九州市タカミヤ環境ミュージアム ほか
※詳細は最寄駅の問い合わせ先までお問い合わせください。
※天候の事象により変更・中止となる場合があります。

参加費無料 要申し込み

対象

学校教育関係者(幼〜大)、社会教育関係者、
学生、一般企業、NPO法人、一般

※教育関係者でない方もご参加も歓迎いたします。ぜひお申し込みください。

主催 静岡県立大学教育学部 ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム事務局
後援 ユネスコ・アジア文化センター 全国ESD活動支援センター



報告書はこちらから
ダウンロードできます



プログラム

会場 および Zoomによるオンライン[※](いずれも要申し込み)で開催いたします。下に記載のフォームよりお申し込みください。

※パソコンのほか、スマートフォンやタブレットPCでも参加できます。

※機器をお持ちでない方は、お知り合いの方に協力していただくことで、ご観覧ください。お知り合いの方にもフォーラムについて広報していただけますと幸いです。

13:00	受付	
13:30~13:40	開会行事	主催者あいさつ 静岡県立大学教育学部 村山 功 趣意説明 コンソーシアム事業プロジェクトリーダー 田宮 緑
13:40~14:10	トークセッション	「ミュージアムジャック誕生まで」 ゲスト NPO法人 里山を考える会代表 関 智昭氏
14:10~14:40	実践報告	精治学園小学校 × 北九州市タカミヤ環境ミュージアム 伊豆の国市立大に北小学校 × 伊豆半島ジオパークミュージアム ジオリア 富士市立田子運動公園 × 静岡市立日本平動物園
14:40~15:00	休憩	ブース展示をご覧いただいたり、参加者との交流をしたりするお時間として活用いただけます。 オンライン参加のみならず、休憩、会場で渡されるポスターや展示されるポスターのPDFを ご覧いただくお時間としていただくと幸いです。
15:00~16:15	ラウンドテーブル	実践報告関係者、ご参加のみならず、教育学部、学内外ESDコーディネーターとともに、 カリキュラムパッケージを創り上げていきます。
16:15~16:30	事業評価委員コメント	室山秀徳氏 愛知教育大学名誉教授 大宮一良 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター教育協力部長 永田忠通氏 広島大学准教授
16:30	閉会	

ブース展示(予定)

- ・静岡県立日本平動物園
- ・北九州市タカミヤ環境ミュージアム
- ・(一社)美しい伊豆創造センター
- ・中央動物総合専門学校
- ・静岡県教育委員会教育政策課
- ・静岡県幼児教育センター
- ・静岡市こども医療
- ・富士市体育幼稚園
- ・浜州市教育委員会学校教育課
- ・袋井市教育委員会教育企画課
- ・FMIしみずマリンパル (協賛)

フォーラム当日までの流れ



参考資料 事前にご覧いただくことで、スムーズにフォーラムに参加できます。



フォーラムに 会場で参加 される方へ

- 開始時刻30分前(13:00)から受付開始となります。
お時間にも余裕を持ってご来場ください。

フォーラムに オンライン(Zoom)で参加 される方へ

- 招待状メールに記載されているURLにアクセスし、フォーラムに参加してください。
開始時刻10分前を目安に入室できます。
- 事前にZoomのアプリケーションをダウンロードし、設定を済ませておいてください。
- パソコンのほか、スマートフォンやタブレットPCでも参加できます。
- 機器やZoomの設定等、技術的なご質問にはお答えできません。ご了承ください。

参加お申し込みはこちら

申し込み締切: 11月10日(日)

<https://qrqr.com/4WtwsuGT>



お問い合わせ

ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム事務局

ESDフォーラム ミュージアムジャック2024 実行委員長 田宮 緑(静岡県立大学教授)

静岡県駿河区大谷836 静岡県教育学部

E-mail: tamiya.yukari@shizuoka.ac.jp

カリキュラムパッケージは
こちらからダウンロードできます



549_ESDフォーラムミュージアムジャック 2024

2024.11.22

講演会・研修会

2024年11月15日（金）：「ESDフォーラムミュージアムジャック2024」をホテルアソシア静岡 3階葵で、ハイブリッドで開催いたしました。令和6年度文部科学省ユネスコ活動費補助金SDGs達成の担い手（ESD）推進事業「社会教育・学校教育融合型のESDを主眼としたカリキュラムパッケージの開発」の一環です。

「カリキュラムパッケージ2023」を活用した実践をもとに、改善を図ることを目的に、学校教育、社会教育、行政、NPO法人、一般の方々（対面68名、オンライン50名、サテライト11会場）とともに、トークセッション、実践報告、ラウンドテーブルを行い、最後に事業評価委員コメントをいただきました。また、多様なステークホルダーとのネットワーク構築の場として、ブース展示も行いました。ブースのポスターは、ネットワークラボ公開資料053でご覧いただけます。

◎ラウンドテーブル

参加者の含蓄に富む質問から、実践報告者3名が異口同音に「子どもはESDやSDGsのために活動しているのではなく、ミュージックジャックの楽しさ、おもしろさから探究にのめり込んでいく。結果的にESDやSDGsにつながっていく」と述べられました。カリキュラムパッケージのコンセプト「リアルごっこ遊び」の本質に迫る対話がなされたように思います。さらに、社会教育施設の立場からタカミヤ環境ミュージアム館長 松岡俊和さまが3名の発言を強化する発言をされました。

◎事業評価委員コメント

世代や地域の垣根を超え、環境をテーマをみんなで考えるフォーラムだったこと、ユネスコのGreen Education Partnershipに値する活動であったことなどの評価とともに、国内外への発信、ユネスコスクールとの連携、カリキュラムパッケージの定義、教育課程にどのように体系づけていくのかなどの課題もいただきました。今後の指針としていきたいと考えております。ありがとうございました。

◎参加者アンケート

様々なミュージアムや団体が参加してくださってることに、まずは驚きました。(中略) その様々な方たちに、幼稚園、小学校の実際の活動報告を聞いていただけたことも、意味が大きかったと思います。(中略) ミュージアムや団体側、大人側に学びがあるというお話も興味深かったです。やはり、こうした取り組みは大人の意識改革に依るところが大きいことも改めて感じました。幼稚園の発表では、(中略) 当日だけの「点」ではなく、学びは線であり、面でありということもみなさんによく伝わる実践であったと思いますし、幼児教育の奥深さも伝わる実践であったと思います」(石野泰子さま 浜松市立与進幼稚園)

「みんなでつくる」フォーラムをコンセプトに、1月下旬より準備を進めてきました。フォーラムにご参加のみなさまにあらためて感謝申し上げます。



ESDフォーラムミュージックジャック2024

ネットワークラボ活動報告より <https://knotworklab.com/activity/page/3/>

○活動報告552 2024年11月20日（水）

富士市立田子浦幼稚園の5歳児が、園外保育で静岡市立日本平動物園を訪問・ジャック

○活動報告554 2024年11月21日（木）

FMしみずマリンパル がESDフォーラムのポスターをエントランスに掲示

○活動報告557 2024年11月29日（金） 森町歴史民俗資料館を訪問

○活動報告559 2024年11月29日（金）

ESDフォーラムラウンドテーブルでの発言に応じ、静岡県立遠江総合高等学校を訪問

○活動報告561 2024年12月7日（土）

2024年 第2回広島SDGsコンソーシアム研修会でミュージアムジャックについての講話

○活動報告567 2024年12月24日（火） 富士市立田子浦幼稚園園長よりご報告

ESDフォーラムに参加した保護者の要望で、報告内容を参観会にて保護者全員に伝える

○活動報告570 2025年1月16日（木） 富士市立松野こども園園長より報告

松野こども園5歳児の日本平動物園を訪問・ジャック

○活動報告572 2025年1月17－18日
明治学園小学校4年生96名が、北九州市タカミヤ環境ミュージアムをジャック
NPO法人里山を考える会がビデオを制作・静岡大学へ提供
静岡市立登呂博物館から館長 岡村渉さま、職員 松原草太さまも参加

○活動報告580 2025年2月4日（火）
伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」を伊豆の国市立大仁北小学校の5年生が
ジャック 静岡朝日テレビ、静岡新聞社、伊豆日日新聞社から取材

（先生方のお話）

真剣な表情で取り組む子どもの姿に感動しました。校内では
みることのできない子どもの姿を見ることができ正直うれし
かったです。一人一人の子どもの理解が深まり勉強になりました。
た。

静岡大学東部サテライト研究補佐員 石川登之子さまから次の
ような報告をいただきました。

（地域の方のお話）

- あんなに人がジオリアにいるのを見たことがなく、来観客
も楽しそうでした。
- 案内、発表している子だけではなく、掃除する子も頑張っ
ていました。知らない大人と話すだけでも子どもにとっては大
きな経験になると思います。
- 伊豆中の小学校でこのイベントをやってほしい。

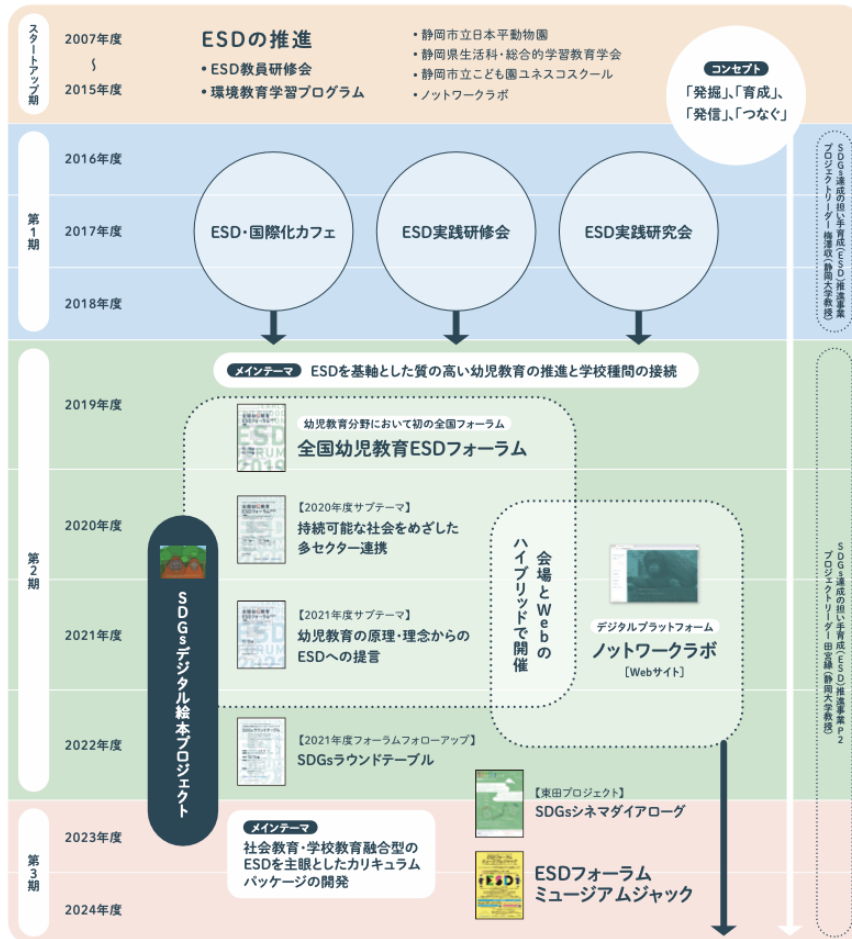


ESD・国際化ふじのくにコンソーシアムの背景

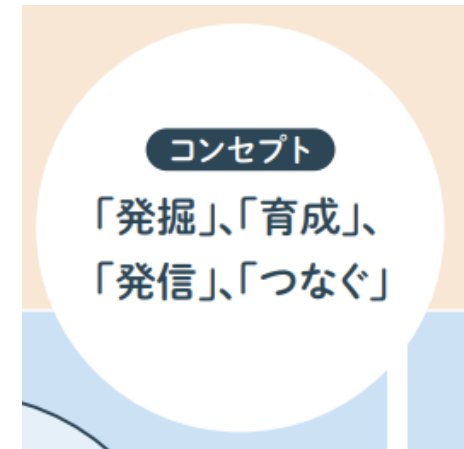
令和6年度 文部科学省ユネスコ活動費補助金
SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業

「社会教育・学校教育融合型の ESDを主眼としたカリキュラムパッケージの開発」 コンテキスト

本事業は、多セクター連携によるSDGs達成の中核的な担い手となる教師教育の推進を目的としており、先生方が主体となり学ぶ場を創造し、先生同士や多セクターをつなぐ教材やプロジェクトを開発・提供してきました。



<https://knotworklab.com/data/2318/>



第1期 2016~2018年度
SDGs達成の担い手育成 (ESD)推進事業
プロジェクトリーダー 梅澤 収

第2期 2019~2021年度
SDGs達成の担い手育成 (ESD)推進事業
P2プロジェクトリーダー 田宮 縁

第3期 2023年度~
SDGs達成の担い手育成 (ESD)推進事業
プロジェクトリーダー 田宮 縁

幼児教育分野において初の全国フォーラム



全国幼児教育 ESDフォーラム

10/18・19 参加者 350名
4本の講演、実践報告、
ポスター発表、トークセッションなど
幼～大までの学校種を超えた交流

2日目午後
社会教育施設を核とした
学校種間の接続に関する
トークセッション

13:30

講演 4

「日本平動物園が果たしてきた役割とこれからの役割 ～動物を通して考えるSDGs～」

静岡市立日本平動物園園長・獣医師 柿島 安博氏

14:40

実践報告

「東豊田中学校区ランドデザインについて」

静岡市立東豊田こども園・東豊田小学校・東豊田中学校

15:30

トークセッション

「発達段階に応じた多セクター連携 ～学校・家庭・地域の立場から～」

静岡市立東豊田中学校校長 青山 貴弘氏

静岡市立東源台小学校PTA会長 深澤 邦洋氏

静岡市立日本平動物園園長 柿島 安博氏

静岡大学教授 田宮 縁(ファシリテーター)

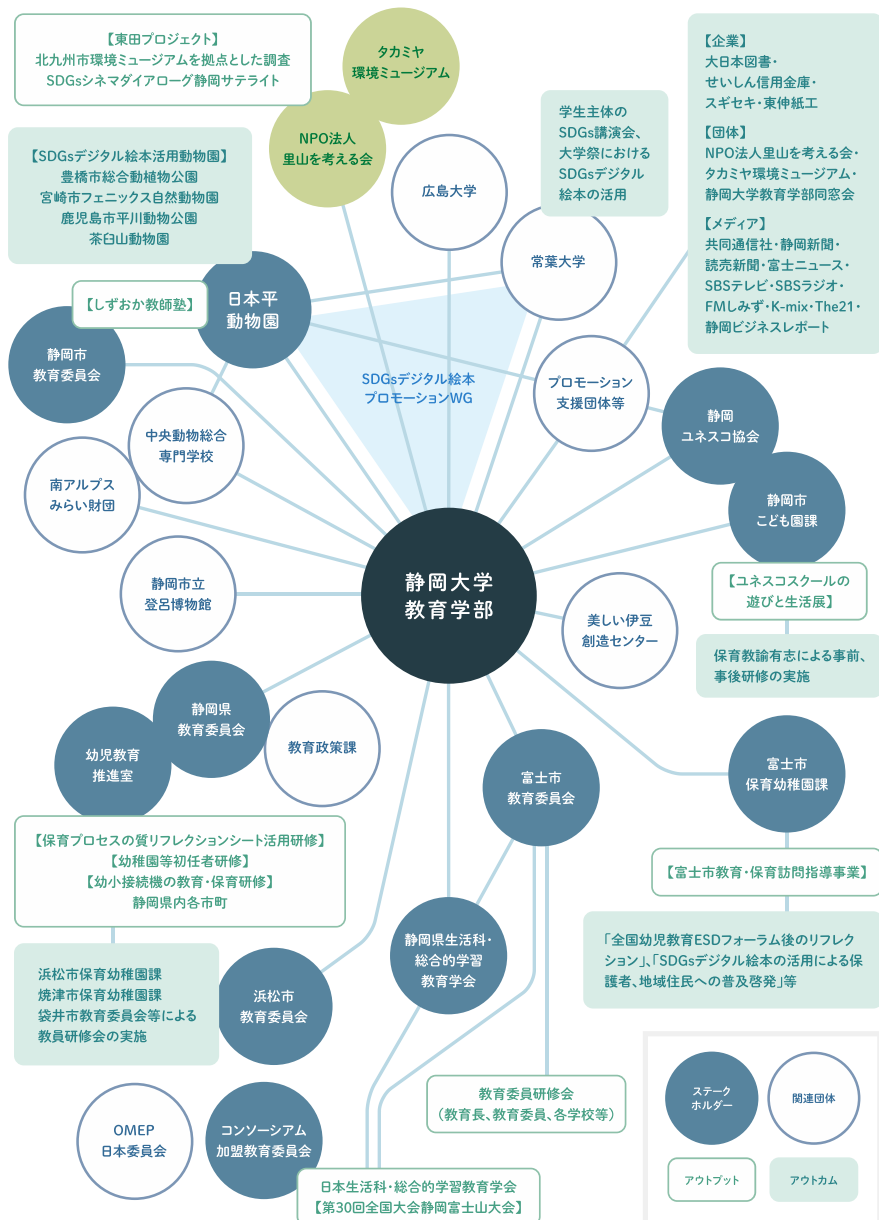
報告書はこちらから
ダウンロードできます



つながり



コンソーシアム事業(令和元年度～6年度)の主なアウトプットとアウトカム



「ESDを基軸とした質の高い幼児教育の推進と学校種間の接続」の取組みにおいて得た知見やネットワークを基盤に、ESD・国際化ふじのくにコンソーシアムを母体に、ESDの視点を組み込んだカリキュラムパッケージの開発に至る。

2007

- 日本平動物園でのESD教員研修会を開始
 - 日本平動物園 再整備事業開始
- 環境教育学習プログラム（ミミズコンポスト、クレージークラスヘッド、バイナブルプラント）開発に着手

2008

- 静岡市立日本平動物園
 - 日本平動物園運営委員（2期）

2009

- 日本平動物園との共同研究「生活科における動物園との連携による動物飼育」開始

2013

- ASP.UnvNet（ユネスコスクール支援大学間ネットワーク）に加盟
 - 日本平動物園 リニューアルグランドオープン
- 静岡市立幼稚園ユネスコスクール加盟申請書の作成支援

2014

- 科研費基盤研究(C)「生活科における動物園との連携による動物飼育」(~2017)
 - 幼稚園の遊びと生活展「開催（2017～「ユネスコスクールの遊びと生活展」/プロジェクトリーダー：芳賀正之教授）

2015

- 受託研究「日本平動物園環境教育プログラム普及事業」
 - 「生活科における動物園との連携による動物飼育」の調査にて北九州市を訪問

2016

- 受託研究「日本平動物園環境教育プログラム普及事業」

2017

- 日本生活科・総合的学習教育学会第30回全国大会「富士大会・2021年」準備開始

2019

- 日教弘本部奨励金「保育実践を支える評価システムの開発～保育プロセスの質を高める園内研修～」静岡県教育委員会幼児教育センターとの連携開始
- しずおか中部連携中核都市圏課題解決事業助成金
 - 日本平動物園 開園50周年

2020

- 受託研究「富士市教育・保育訪問事業」開始
 - ホームページ開設
- SDGsデジタル絵本プロジェクト

2021

- SDGsデジタル絵本プロモーションWG
 - 東田プロジェクト(NPO法人里山を考える会(北九州市)との連携)始動
 - FMしみずマリンバル Voice of SDGs 制作協力

2022

- しずおか中部連携中核都市圏地域課題解決事業助成金

2023

- しずおか中部連携中核都市圏地域課題解決事業助成金
 - 受託研究「令和5年度南アルプスユネスコエコパーク環境教育・普及啓発に関する調査・検討」



ガイドブックはこちらから
ダウンロードできます



受託研究
「令和5年度南アルプスユネスコエコパーク
環境教育・普及啓発に関する調査・検討」



コンテンツの印刷については
南アルプスみらい財団、
日本平動物園が担っている。

ガイドブックはこちらから
ダウンロードできます



令和5年度
しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業助成金